

令和7年度 評価計画及び自己評価

(計画)・中間・最終)

音戸中学校区 校番 27 学校名 音戸小学校

a 学校教育目標	〈小中一貫教育目標〉 ふるさとを愛し、自律できる 児童生徒の育成 夢をもち 自ら動き たくましく 生活する 児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉(学校の使命) 知・徳・体の基礎的な力を身に付け、学校や地域に誇りと愛情をもち、感謝・貢献する児童を育成する。 〈ビジョン〉(将来の学校像) 挨拶と笑顔があふれ、安全・安心な学校 児童が自信を持ち、目標に向けて挑戦する学校 地域・家庭とつながり、信頼される学校
c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	本校では、中学校区で設定した資質・能力の育成を目指し、確かな学力では、ペア学習やICTの効果的な活用を図った考える授業づくり、計画的組織的な個別指導の取組、特別支援教育の視点を取り入れた学習環境づくりを推進することで、児童の主体的に学ぶ力、知識・技能及び表現力の向上が見られた。また、豊かな心では、あいさつの徹底、親切さんありがとうBOX、縦割り班活動や地域学習の充実を図ることで、児童の自己肯定感や地域への愛着心の向上が見られた。健やかな心身では、生活習慣改善カードの着実な取組、くれ・チャレンジマッチ・スタジアムへの組織的な参加、地域や家庭を巻き込む防災教育を推進することができ、一定の成果を挙げた。業務改善も教職員の意見を取り入れ、効果を上げた。以上を踏まえ、今年度も、昨年度より深化した取組を、全教職員で組織的に計画的に着実に実践し、確かな学力、豊かな心、健やかな心身、業務改善、安心安全な学校風土の醸成を図り、児童、教職員、保護者、地域が一体となって高まっていくことのできる教育実践を研究していく。		

育成すべき資質・能力 「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「協働的に関わる力」「地域の一員として関わる力」

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・2・(3) 年目)						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標値	10月			2月		
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★ (知) 確かな学力		①児童が主体的に課題解決に取り組む授業づくりを推進する	○考える授業づくりの推進	○学期ごとの評価テスト(国・算)の平均が40%以下の児童の割合	0						
		②表現力を育成する	○課題発見・解決学習の授業研究の実施 ○ノートづくり・スピーチの取組	○課題発見・解決学習に関わる児童アンケート ○ノートづくり・スピーチに関する児童アンケート	85 80						
		③個に応じた学習指導を工夫し、基礎学力の定着を図る	○個に応じた課題別学習(キュービナの効果的な活用等)、特別支援教育の視点を取り入れた授業づくり、組織的・計画的なドリルタイムの実施	○個に応じた課題提示や選択に関する意識調査(教職員・児童)	85						
★★ (徳) 豊かな心		④自他のよさを認め合い、自尊感情、自己有用感を向上させる。	○挨拶の徹底(児童を主体とした「あいさつ名人」等の取組の実施) ○「親切さんありがとうBOX」の活用	○挨拶意識調査(児童・保護者・教職員) ○「親切さん」を自主的に推薦した児童の割合	80 70						
		⑤いじめや暴力等を許さない学校環境づくりを推進する。	○いじめ撲滅キャンペーン中に、各委員会が主体的に考えた取組を確実に実行し、振り返りをする。	○「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか。」アンケート(児童)	100						
		⑥地域の人・もの・ことと関わり、活用し、感謝・貢献する意識を醸成する。	○生活科の学習や総合的な学習の時間の中で、実際に地域に関わる授業を学期に2回以上行い、まとめ、発信する。	○地域に関するアンケート(児童・教職員)	80						
★ (体) 健やかな心身		⑦基本的な生活習慣の確立を図る。	○「げんきっすカード」による取組で、家庭でのメディアのルールを決め、児童・保護者の意識を高める。決めることができない児童の支援を行う。	○メディアに関するアンケート「家庭でメディアのルールを決めている。」(児童・保護者)	80						
		⑧児童の運動意欲を高め、体力づくりを推進する。	○くれ・チャレンジマッチ・スタジアムで3種目以上に取り組み、入賞を目指すことを通して児童の体力向上を図る。	○学期に1回チャレンジ週間を決め、記録を更新する。	85						
		⑨児童の防災意識を高める	○「自分の命は自分で守る」防災授業(実践に結びつく授業を学期に1回) ○授業中以外で避難訓練を行い、防災意識や実践力を高める。	○学期に1回以上実践に結びつく授業を行い、防災安全ファイルに保存していく。 ○授業中以外で避難訓練を行う。防災に関するアンケート「自分が住む地域に起こりやすい災害について知っている。」「災害時に避難する場所や避難の仕方について知っている。」(児童)	80 100						
業務改善	教職員が自らの意欲と能力を発揮し、健康でやりがいを持って働けることができる教育環境の整備	⑩児童と向き合う時間の確保	○行事の精選と簡略化、業務の見直し、会議時間の短縮を継続し、教職員が教材研究等に取り組む時間を確保する。	○児童と向き合う時間が確保されていると感じる教員の割合	80						
		⑪長時間労働の縮減	○成績処理期間の放課後時間の確保 ○週1回(水)の定時退校の徹底	○時間外勤務が月45時間以下の教職員の割合	85						

[k:評価]

A:100≦(目標達成) B:80≦(ほぼ達成)<100
C:60≦(もう少し)<80 D:(<できていない)<60